



妙法寺だより

平成三十年秋号

秋のお彼岸法要

九月二十三日（秋分の日）

午後二時より

くお彼岸についてのお知らせく

一、秋のお彼岸の法要は9月23日（秋分の日）

午後2時から営みます。ご家族揃ってご参列ください。



一、卒塔婆は、同封の申込用紙にご記入のうえ、専用の返信封筒にてご返信頂くか、FAXにてお申込みください。9月18日締切

一、墓参用のお花は、お彼岸の期間（9月20日〜26日）に用意してございます。（数に限りがありますので、ご注意ください）



一、法要中は「方便品・如来寿量品」のお経とお題目をお唱え致します。お経本も用意してございますので、ご一緒にお唱えください。



一、当日は護持費（年会費）受付を設けております。





11月4日（日）午後5時より

於 本 堂

宗祖御入滅報恩会式は、通称「お会式」と呼ばれ、弘安5年10月13日に御入滅（ご逝去）されました宗祖日蓮大聖人、そして妙法寺を開山された日昭聖人の遺徳を讃える法会であります。また、年に一度の「妙法寺感謝祭」と位置づけ、参拝の皆様には楽しんで頂きたいと考えております。

檀信徒のみならず、家族、親戚、友人、ご近所の方などお誘い合わせのうえ、たくさんの方々のご来寺お待ちしております。

お会式は昨年まで、10月11日に行っておりましたが、少しでも多くの方にご参加頂きたいことから、本年より毎年11月の第一日曜日に開催することとなりました。多くの皆様のご参詣をお待ちしております。

妙法寺感謝祭

午後六時三十分〜

立川談笑

たてかわ

だんしょう

【立川談笑】

昭和40年東京江東区生。早稲田大学法学部卒業。立川談志入門。平成17年真打昇進

古典落語に現代の息吹を吹き込む意欲的で明るい高座は、落語好きはもちろん、落語になじみのない若年層の支持も集めている。

平成21年に東京の落語ファンを対象に行ったアンケートでは、談志に次ぐ7位。長年にわたりフジテレビの「とくダネ!」・NHK Eテレ「趣味どきっ!」などにレギュラー出演するなど、テレビやラジオなどで活躍中。



お知らせ

お会式の提灯の募集

昨年に引き続き、お会式の提灯の募集を行います。
数に限りがございますのでお早めにお申込ください。

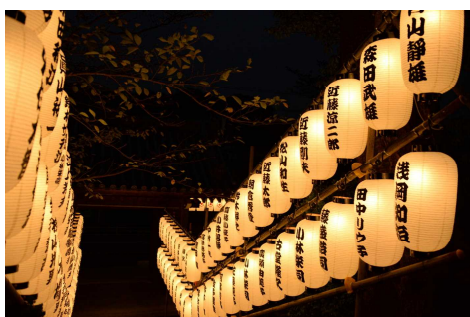
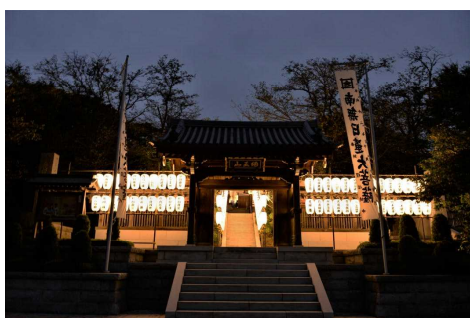
■募集対象…檀家さんに限らず、どなたでも御奉納頂けます。

企業名・会社名でもお受け致します。

■奉納金額…15,000円

■申込方法…妙法寺までお電話にてお問い合わせください。

■募集数…20個(募集数に達し次第締め切ります)



卒塔婆の経文が変わりました

お盆やお彼岸・ご法事など
でお建てします卒塔婆の裏
面、じっくりご覧になられた
ことはございますか？

表面には、南無妙法蓮華經

のお題目と法號などが書かれ、裏面には、日付と共に供養する
方の成仏を願う経文が書かれています。他宗の場合では梵字な
どが書かれている場合が多いようです。

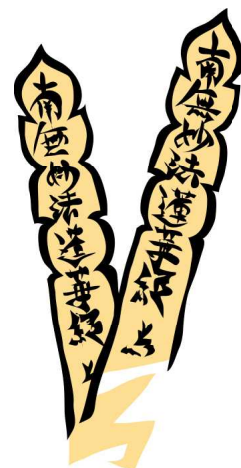
今回、新たにしたためた経文は、

転凡成聖 抜苦与楽

このお経文は、煩惱によって彷徨う凡夫の迷いを、お題目
の功德、卒塔婆の功德によって転じて、覺を得て「聖」の姿
と成り、苦しみを抜き除き、安樂を与える、という意味の経文
です。是非、卒塔婆をお建てになる折にはご覧ください。



「えっ？その経文で決まってい
るんじゃないの？」と思われる
方もいらっしゃると思います。
日蓮宗では成仏を願う数種類の
経文から、その時に応じて住職
が書き記し、供養への祈りを込
めています。



シリーズ

うちのお寺は日蓮宗

第二十六段

今回のコラムでは、日蓮聖人の熱心な信徒であった

「四条金吾」さん（以下、金吾さんと呼びします）

のお話をご紹介します。

日蓮聖人の熱心な信者さんであった金吾さん。日蓮聖人が首を切られ処刑されそうになった時にもいち早く駆けつけ、
 “日蓮聖人が処刑されるなら、自身も命を絶つ！”とまで誓うほど、日蓮聖人を慕う熱心な信者さんでありました。

金吾さんは鎌倉に住し、お仕事は北条幕府に仕える鎌倉武士で、その中でも北条家の一門の「江馬光時」に仕えていました。今で言えば官僚や公務員といったところでしょうか。上司であった江馬さんは、熱心な南無阿弥陀仏のお念仏の信者さんで、日蓮聖人を支援し、南無妙法蓮華経のお題目信仰に熱心な金吾のことをよく思っていなかったようです。ある時、金吾さんは江馬さんにお題目信仰の素晴らしさを伝え奨めるのですが、きつぱりと断られしまいます。そのことがきっかけに金吾さんと江馬さんとの関係は悪化してしまい、以来、江馬さんから謂われ無き嫌がらせを受けてしまいます。金吾さんの伊豆にある所領は、越後に変えられるという、現在で言えば「左遷」に会い、引いては謹慎処分に至ってしまいます。金吾さんは、そのような悲惨な状況を日蓮聖人にお手紙をしたため相談し、江馬さんの嫌がらせに耐えきれないことから、仕事を辞めて日蓮聖

人の弟子として出家したいと申し出るのです。そんな金吾さんに対し、日蓮聖人は次のようなお手紙を送ります。

御宮仕いを法華経と思し召せ（略）

苦をば苦とさとり、楽をば楽とひらき、

苦楽ともに思い合わせて

南無妙法蓮華経と、うち唱えさせ給え、

これ自受法楽にあらずや

いよいよ強盛の信力をいたし給え。

日蓮聖人は、たとえ上司の江馬さんに嫌がらせや虐めがあつたとしても、出家して逃げ出すのではなく、「御宮仕いを法華経と思し召せ」と言つて、上司に仕えることを仏教の修行、お題目の修行と思つて励みなさい。苦しい時には、その苦しみを受け止め、耐えるお題目を唱えなさい。楽しい時には、その楽しみを心から味わい、感謝のお題目を唱えなさい。苦楽ともに思い合わせてお題目を唱え、自身の信じる力でもって人生を



切り開いていきなさい。と諭され、金吾さんはこの苦境をお題目を唱えながら耐え忍ばれるのであります。

関係を回復するきっかけ

日蓮聖人からそんな手紙を受けた折、上司である江馬さんは、難病を患います。謹慎中であつたにも係わらず金吾さんは、江馬さんの所に駆けつけ、薬を調合し、懸命に看病を続けます。その甲斐あつてか、江馬さんの健康は回復し、更にはその懸命な姿勢が買われ、陰悪であつた江馬さんとの信頼関係も回復することができたそうです。そして領地替えになつていた領地も以前の3倍の領地となつて戻つて来たと言います。

四条金吾さんのサクセスストーリーから、逃げることも無く自分の与えられた仕事をしっかりと全うし、苦しいこと、辛いことがあつても、それを耐え忍び、嬉しいこと、楽しいことがあつたら感謝する。苦しみも喜びも深く味わつてお題目を唱えていくことが、南無妙法蓮華經の信仰の姿ではないかと教えられたと思います。



住職レポート

「エンディング産業展」

8月22日から24日までの3日間、東京ビックサイトで「第4回 エンディング産業展」が開催され、25000人近くの方々が来場されました。住職は「まいてら」というブースを出店して参りましたのでレポート致します。

エンディング産業展は、葬儀や供養に関する設備やサービスが集まる展示会です。葬祭業・石材業・寺社仏閣・宗教者・自治体関係者が集まり商談・情報交換のための専門展示会として、東京ビッグサイトで毎年盛大に開催され、本年度4回目となります。国内外から250を超えるメディアも訪れ、大変注目を集めている産業展であります。



昨年のですが、受付の様子



今回、「まいてら」という有志の皆様と出展しブースに立ちました。「まいてら」とは菩提寺の無い方や、身近にお寺とご縁を持ちたい方が、安心してお付き合いできる良きお寺を探すためのお寺の情報サイトです。



(右) スワロフスキーで出来た骨壺
(上) 様々にデザインされた棺



現在日本では、年間130万人の方がお亡くなりになられ、反対に年間生まれて来る子どもたちは100万人を割り込んでいます。少子高齢化は更に進み2040年には年間168万人の方がお亡くなりになると予測され、「少産多死化」の時代と言われております。そのような時代背景もあり、産業展では今まで見たことの無い仏壇やお墓の形など、新しい葬儀のスタイルが提案され、供養の在り方や価値観が多様化していることを象徴しています。その中で「まいてら」は、宗派や地域を越えた僧侶が常駐し、供養の大切さを発信、「僧侶こそ終活のベストパートナー」をテーマに、終活や供養に関する相談を随時行い、お寺の出張所的な役割を担って参りました。3日間沢山の方が興味を持ってお越しくださり、普段なかなかお話しする機会のない方との触れ合いの場となり、とても貴重な時間でした。



多くの人で賑わう「まいてら」



江戸自慢三十六興
池上本門寺お会式

毎年、参加していただきました池上本門寺の万燈奉納はお休みさせて頂き、どなたでも池上のお会式に参加できるツアーを企画致しました。今回の妙法寺だよりにチラシを同封させて頂きましたので、ご家族、ご友人などお誘い合わせのうえ、皆様のご参加、お待ちしております。

池上本門寺お会式参拝ツアー

お会式とは日蓮聖人がお亡くなりになられた10月13日を中心に、全国各地の日蓮宗寺院で営まれる行事です。その中でも日蓮聖人がご逝去された池上本門寺は最も盛大に行われ、全国から大勢の参詣者や団体が参拝し、池上駅周辺から本門寺までの約2キロにわたって総勢約三千人もの万灯練り行列が池上の町を練り歩き、沿道には沢山の観衆が軒を連ね、深夜にいたるまで賑やかな一日となります。

この盛大なお祭りをぜひ一足先きに体験して頂きたい。妙法寺では今回お会式参拝ツアーを企画しました。日蓮聖人の威徳を忍ぶと共に報恩感謝のお祭りを一足先きに楽しみましょう。

タイムスケジュール

日	程	10月12日(金)
集合時間	午後6時	18:00 妙法寺集合出発
集結場所	妙法寺本堂	18:50 池上本門寺到着
参加費	3,000円	19:00 自由行動
定員	50名	20:50 集合
		21:00 参拝
		22:00 妙法寺到着

妙法寺到着後、駐車場にて解散となります。予定は交通状況により変動する場合がありますのでご了承ください。

参拝ツアーのご案内